

2021 年度 第 10 回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 2022 年 1 月 24 日 (月) 18 : 30~20 : 30

2. 形態 Zoom 会議

3. 出席者

【幹事】眞田 克典 (東京理科大学・事務局長)、鈴木 麻里子 (流通経済大学・事務局次長)、齋藤 史夫 (東京家政学院大学・事務局次長)、大島 真夫 (東京理科大学)、齋藤 智志、渡辺 恵 (杏林大学)、山本 智子 (国立音楽大学)、荒木 裕貴 (共立女子大学)、鈴木 隆弘 (高千穂大学)、戸川 点 (拓殖大学)、下田 好行 (東洋大学)、長嶺 宏作 (帝京科学大学)、瀬川 大 (日本女子体育大学)、吉田 真理子、伊藤 民子 (洗足学園音楽大学)、片岡 祥二、八島 裕幸 (共栄大学)、佐々木 竜太 (清和大学短期大学部)

【事務担当】常盤 朋子 (東京理科大学)

【オブザーバー】西村 志乃 (洗足学園音楽大学)、田村 真広 (日本社会事業大学)、池田 賢市、高木 雅史 (中央大学)、後藤 正矢 (多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理 (武蔵野美術大学)、田中 直樹 (聖徳大学)、新田 司 (千葉敬愛短期大学)

4. 現幹事および次期幹事自己紹介

5. 協議

〔報告事項〕

(1) 研究部の活動について

○部会の活動について

- ・第 1 部会 : 10 月 11 日に依頼した「母校実習の状況等」および「教育実習に関わるメディア授業」に関するアンケートの回答結果を 11 月 29 日付けで部会員へ共有した。その結果等をテーマとして取り上げ、3 月に第 3 回の部会を開催予定である。
- ・第 2 部会 : 12 月 19 日に第 2 回の部会を開催し、自己点検評価についての情報共有を行った。また、2016 年に行った教職課程運営に関する組織の調査を基に、新たな調査の計画やアンケート項目の追加等の精査を行う予定である。ページ数により、会報に組み込むか、報告書として別にまとめるかは今後検討する。倫理的な問題に関しては、幹事校会で今後確認していく予定である。
- ・第 3 部会 : 2 月もしくは 3 月に第 3 回の部会を開催予定である。
- ・第 4 部会 : 第 3 回部会を 12 月 4 日 (土) 15 時からオンラインで、コロナ禍における各大学・短大の実習の取組状況及び課題について意見交換・情報交換を行った。第 4 回部会を 3 月 5 日 (土) 15 時から開催予定である。
- ・第 5 部会 : 第 3 回部会を 12 月 4 日 (土) にオンラインで開催し、11 名が参加した。千葉県教育庁教職員課初等中学校研究室長を講師としてお招きし、千葉県教員採用試験の志願者動向、志願者数増減の背景及び対策についての講演と今後の採用試験の見通しについて情報共有や意見交換を行った。次回部会は 2 月もしくは 3 月に開催予定である。

- ・第6部会：昨年度調査をした各大学のハラスメント規程の中で、教育実習におけるハラスメント等の記載についての報告書を発行予定であるが、具体については、部会長、副部会長、世話人とで引き続き協議し検討していく。

- ・第7部会

第4回部会を1月21日(金)18時からオンラインで開催し、「学校での著作物利用のデジタル・シティズンシップ的に思考する・自分の頭で考える」をテーマとして、岐阜聖徳学園大学の芳賀高洋氏からご報告をいただいた。第5回の部会は、3月24日(木)に工学院大学の尾高進部会長にご報告いただく予定である。

- ・第8部会

今年度は自己点検評価をテーマとして、全私教協の研究交流集会や関私教協のシンポジウムに参加し、勉強することとしている。

○地域の活動について

- ・千葉・茨城地域部会：第2回部会を2月1日(火)にオンラインでの開催を検討している。「学習指導要領の示す『思考力』の育成と教職課程の役割」について、日本体育大学の今関豊一氏にご報告いただく予定である。
- ・神奈川・山梨地域部会：2月26日(土)にオンラインで部会の開催を予定しており、田園調布学園大学、帝京科学大学、東京工芸大学の3校より、教職課程自己点検評価に向けての事例報告をしていただく予定である。
- ・北部地域：2月17日(木)にオンラインによる協議会の開催を予定しており、令和元年度に文部科学省による教職課程認定大学等の実地視察を受けた高崎健康福祉大学から講演をいただく計画である。

(2) 2021年度第2回研究懇話会報告について

佐々木研究部長から、資料1に基づき、12月11日(土)にZoomで開催された第2回研究懇話会の参加者が164名であったことの報告があった。

(3) 『会報』第91号の編集について

吉田広報部副部長から、資料2に基づき、『会報』第91号の執筆担当者及び作成スケジュールについて説明があり、6月発行に向けて準備を進めていくことの報告があった。

下田広報部長より、各部会の活動報告については、定期総会の議案書の活動報告も兼ねているためフォーマットを後日送付することの説明があった。

〔審議事項〕

(1) 2022年度幹事校・世話人の体制について

眞田事務局長から、資料3に基づき、正式の就任は5月の総会以降となるが、次期幹事校大学には本日の幹事校会からオブザーバーとして参加いただくこと、また2月21日の幹事校会で次期の事務局次長、研究部・広報部の副部長、部員及び各部会の世話人を決定すること

の提案があり、承認した。

(2) 2022 年度定期総会・合同研究大会、研究部総会・第 1 回研究部会への準備について

眞田事務局長から、資料 4 に基づき、2022 年 5 月の東教協との合同研究大会は関私教協が担当となるため、例年 7 月に開催する第 1 回研究懇話会は開催しないこととし、研究部総会と第 1 回研究部会を 5 月の合同研究大会後に併せて開催することについて、東教協の関係者と意見交換を行った旨の説明があった。5 月 15 日(日)にオンラインのみで開催することとし、関私教協に一任された合同研究大会のテーマ及び講師（情報提供者）と司会者の選出について、現在の研究部が中心となって検討していただくことの提案があり、承認した。

(3) 全私教協 2022 年度研究大会への準備について

眞田事務局長から、資料 5 に基づき、全私教協の関係者と意見交換を行い、研究大会は 5 月 28 日(土)にオンラインのみで開催し、大会テーマは「教職課程自己点検評価の実施段階を迎えて」として、シンポジウムのテーマは大会テーマに関連する内容を全私教協で検討するとの説明があった。開催大学は日本女子体育大学に依頼することとし、シンポジウムの司会者 1 名とシンポジスト 1 名をそれぞれ関私教協より選出することの提案があり、承認した。

(4) その他

①各部、各部会の会費の清算について

2021 年度の各部・各部会の活動費について、追加送金を希望する場合は現時点での出納簿と今後の計画をご報告いただきたいこと。また、3 月末までの出納簿、領収書、残金について事務局から依頼予定であること。

②各部・各部会の総会報告資料について

総会報告資料については広報部からの報告書作成依頼に含めて、依頼すること。

③今後の幹事校会については以下のとおり。

第 11 回幹事校会開催予定 2022 年 2 月 21 日（月）18：30～20：00

第 12 回幹事校会開催予定 2022 年 3 月 28 日（月）18：30～20：00

第 13 回幹事校会開催予定 2022 年 4 月 18 日（月）18：30～20：00

6. 配付資料

資料 1：2021 年度第 2 回研究懇話会 開催報告

資料 2：『会報』第 91 号について

資料 3：2022 年度 関私教協役員大学担当表（案）

資料 4：2022 年 5 月 東教協との合同研究大会、関私教協定期総会の開催について

資料 5：全私教協 2022 年度研究大会の開催について

以 上